



TITLE:

恩師シャンツ教授を悼む

AUTHOR(S):

神戸, 正雄

CITATION:

神戸, 正雄. 恩師シャンツ教授を悼む. 経済論叢 1932, 34(2): 452-454

ISSUE DATE:

1932-02-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/130139>

RIGHT:

會學濟經學大國帝都京

經濟論叢

號二第

卷四十三第

行發日一月二年七和昭

論叢

政府の營繕購品制度 法學博士 神戸 正雄
蓄積理論の一考察 文學博士 高田 保馬
人間學的社會哲學 文學博士 米田庄太郎

時論

金輸出再禁止後の財界と財政 經濟學博士 汐見 三郎

研究

我が國の都市經費と都市人口 經濟學士 小山田 小七
大量觀察代用法に就いて 經濟學士 蜷川 虎三
歴史的發展に於いて見たる世界不況 經濟學士 松岡 孝兒
助郷制度に就いて 經濟學士 黒羽兵治郎

說苑

恩師シヤンツ教授を悼む 法學博士 神戸 正雄
瑞西の穀物專賣制 經濟學士 八木芳之助
小賣企業に於ける棚卸見切賣出 經濟學士 大塚 一朗

附錄

新着外國經濟雜誌主要論題

(禁轉載)

説苑

恩師シャント教授を悼む

神戸 正雄

一九三一年十二月十九日午後一時、我が恩師、ゲオルグ・シャント先生が氣管支炎に罹りて長逝せられた。哀悼に堪へない。此機會に於て謹みて先生の閱歷、業績、人物を記して、之を我國の學界に傳へ、以て吊詞に代へる。

先生は私が獨逸留學中、師事した方であり。私としては最大の學恩を先生に負ふて居る。先生は實に理論家といふよりは政策家であつた。空理空論を上下することを嫌ひ、實際問題を公正適切に解決することに力を用ゐられた。學界には、實際に即した論策を貢獻し、實際界は其れに誤らざる指針を見出した。先生は現代

財政學界の第一人者たりしのみでなく、匿れたる政治指導家でもあつた。

先生は一八五三年、三月十二日、獨逸バイエルン國內のグロースバル村に、小學教師を父として産れた。ミュンヘン、ヴュルツブルグ、ストラスブルグ諸大學に學び、一八七六年、ミュンヘンにてドクトルとなり暫らくバイエルン國統計局員となりて實務に當り、一八七八年英國に渡り、ブリチツシミュゼアムの圖書館にて自修し、一八七九年、マールブルグ大學講師となり、一八八〇年、エルランゲン大學の助教授となり、一八八二年、ヴュルツブルグ大學の正教授となり、引續き同大學にあること四十九年の長きに及び、此間ベルリン、フライブルグ、ブレスラウ、ミュンヘン等より優遇を以て招かれたけれども、一切應ぜず、終生ヴュルツブルグといふ田舎の比較的貧弱なる大學の一教授として甘んぜられた。そして講義は死の十四日前まで續けられた。

先生は凡そ學者として享受し得べき最高の名譽を得

られた。先生は政學（經濟學）博士たるのみでなく、法、工、醫學の名譽博士の學位をも受け、ミュンヘン學士院の客員ともなり、ヴュルツブルグ大學内にては部長となり、總長（一九一一年）となり、行政委員長ともなり、國は先生にゲハイムラートの稱號を贈り、フオンといふ一代華族にも列し、エキセレンツの敬稱をも與へた。そしてヴュルツブルグの市は、先生の名を冠した町名を設けて、先生の名を不朽とした。

先生は一八八四年以來、財政専門の雜誌フィナンツアルヒフを主宰して居られる。先生は實に之によりて世界的名聲を博せられた。其他、門人の論文集として經濟及行政論集を出し、更にヴォルフ教授と共同にて財政及國民經濟時事問題をも出して居られた。先生の著作は著書によりてよりも、論文によりて多く現はれて居る。數ある著書の中には、瑞西租稅制度論五卷は先生一代の傑作であり、英國商業政策論の如きもゲツチンゲン大學からして壹等賞を冠せられたる名著である。

先生は學問研究の傍、バイエルン國、フランケン洲などの實際政治をも指導せられた。就中、一九一〇年に於けるバイエルン國稅制改革は先生のアルバイトに外ならなかつた。かくて先生は實際政治に参加はせられたけれども、併し或一黨一派に偏傾せず、飽迄、局外にありて公平なる指導者を以て任ぜられた。

先生は財政學、特に租稅論を最得意とせられたが、併し凡そ經濟學に屬する限り、何の方面にも一通り識見を持つて居られた。經濟學總論、農商工交通保險金融さては歴史、統計、社會政策にも通曉せられた。先生の壯年時代には其部下に助教授も講師も置かず、一人にて經濟學の有らゆる部分の講義を擔當せられた。私は先生のかゝる時代に教を受けたる者である。

先生は精力絶倫な方ではあつたが、獨身者であつた。妻なく子なく、淋しき人生を過された。併し萬卷の書物は恐らく先生の最愛の妻であらうし、世界の各國にも散在する門人は先生の小供であつたのである。先生は齡七十九歳、大學在職五十二年を以て此世を去られ

瑞西の穀物專賣制

て、又、再び先生を見ることは出来ないけれども、其の山の加くに積み残されたる業績と、幾萬を數ふる直き弟子並に其を通じての又弟子とによりて、學問のあらん限りは、未來永劫、此世に生き續けられるであらう。